

魔法のコンパス

著者：西野亮廣
 出版社：主婦と生活社
 (2016/8/12)
 読了日：2020/8/20

マネタイズのタイミングを後ろにずらす
 と「面白い」の可能性が増える

従来



マネタイズ方法が給料のみ

給料を支払う側の都合の中で活動せざるを得なかった。

これからの
時代



『信用＝お金』の時代

信用とは、相手を楽しませること

相手を徹底的に楽しませて、**信用を獲得してからマネタイズ**をする時代が来た。

『セカンドクリエイター』に刺さる
コンテンツが力を持ってくる

作り手

受け手

← 従来の二極

← 第三極の登場

セカンドクリエイター

本業にするほどではないが、作り手側も味わいたい人達。

SNSの発展で、誰でも発信者になれるため、人口が急増中。

こちらがハードだけを作って「**ソフトを作ってください**」というコンテンツがセカンドクリエイターに刺さる

丁寧な外枠作りと、ソフト作りを委ねる勇気が求められている！

セカンドクリエイター時代に求められているのは
「待ち合わせ場所」

「スナック」が生き残っているのは、そこで過ごす時間や体験を客が求めているから

スナック＝待ち合わせ場所

国民全員が情報発信できるようになった**セカンドクリエイター時代**

参加者全員が演者でありお客さんとなる『**待ち合わせ場所**』が求められている。➡それを作ろう。